

コ・メディカル形態機能学会 第6回総会報告

会長 磯村源蔵

まだ夏かと思われる残暑の中、東温市となった愛媛大学医学部で絹谷政江先生を集会長としてコ・メディカル形態機能学会第6回学術集会が開催された。

特別講演「いつから、なぜ？白装束か——遍路・巡礼の凶像学」を愛媛大学内田九州男先生から聞いた直ぐ後で、まだ余韻の残った雰囲気での総会であった。今回は委任状の制度が少し理解され、104名出席(うち委任状45名)で会則の半数以上(現会員177名)の参加があり、スムーズに開会ができた。

議長に集会長の絹谷政江先生、書記に愛媛十全医療学院の澤田昌宏先生を選出し、予定どおり17:00から第6回総会が開かれ、議題に従い順次討議を行った。

コメディカル形態機能学会 第6回総会

日時：平成19年9月15日(土)17:00～17:40

場所：愛媛大学医学部看護学科第1講義室

議題

1号議案. 会員状況

177名(平成19年8月20日現在。昨年の同時期は148名で29名の増加であるが、2名は未登録)。

2号議案. 機関紙「形態・機能」発行状況

5巻1号：原著4編(うち第4回学術集会の座長推薦は3編)

5巻2号：原著6編(うち第4回学術集会の座長推薦1編を含む)

原稿の採択率は75%である。

3号議案. 日本学術会議協力学術研究団体指定

平成18年9月25日に指定したと日本学術会議より文書で連絡があった。

4号議案. 役員選挙について

来年(平成20年)3月末日が、現役員の任期終了になり、今年10月中には新役員の選挙を実施する。

会則に従い、コ・メディカル形態機能学研究会からの入会者で、平成20年3月31日までに会員歴2年になる会員132名が被選挙権者である。

なお、当面学会の趣旨を継続するため、現役員のうち以下の4名を役員会推薦候補とする。

島田達生、野村 巖、今本喜久子、隅田 寛

選挙管理委員は前回選挙管理委員長であった唐沢延幸先生(星城大学)、及び肥田岳彦先生(藤田保健衛生大学)の両名を選出・承認する。

選挙方法は会員による直接投票による。機関誌「形態・機能」に挟み込みこまれた被選挙権者名簿上に、適当と思われる候補者8名に丸印(○)を付け、同封の投票用封筒に入れ、選挙管理委員会へ10月31日(消印有効)までに送付する。

開票後は上位8名の役員候補者に承諾の同意を経て、発表する。

5号議案. 第7回学術集会について

集会長：磯村源蔵

場所： 藤田保健衛生大学

日時：平成20年9月13日(予定)

第8回学術集会は野村 巖先生(京都大学)を集会長とする。

6号議案. 第113回解剖学会総会のシンポジウムについて

第113回解剖学会総会(大分大学)においてコ・メディカル教育委員会(会長 明坂年隆朝日大学教授)との共催でシンポジウム「コ・メディカル系の解剖学実習の成果：仮題」を予定していたが、医学及び歯学との共催の形に変更になり、「医学・

歯学・コ・メディカル領域の解剖学教育：現状と展望」という形で行われる。当学会からは中谷壽男先生(金沢大学)が発表する。

7号議案. 解剖学実習の今後の運動方針

1) 文部科学省及び厚生労働省への働きかけ

厚生労働大臣による解剖資格の取得に勤め、認定と同時に機会があれば指導できる現在の体制を承認してもらおう。

2) 各献体団体と大学の話し合い

解剖学実習の承認を得るため各大学単位で献体団体と話し合い、必要性和賛同の理解を得る。困難な場合は本部役員と相談して推進する。

8号議案. 本部機能の実現

名簿管理、会計管理、事務処理を本部で一括管理する。

予算として11万円 ($900 \text{円/時間} \times 10 \text{時間} \times 12 = 108,000 \text{円}$) を計上する。

以上